

～ 黄葉に染まって さあ遠足に 出かけよう! ～



相生山の四季を歩く会 2017.11.12



ヤマコウバシ

木の葉 色とりどり

- ツタ(蔦)・ヤマハゼ(山櫨)・ヤマザクラ(山桜)・カキ(柿)・リョウブ(令法)
- ・カマツカ(鎌柄)・ヤマコウバシ(山香ばし)・コナラ(小櫨)・クリ(栗)・アベマキ(栲)
- ・アオハダ(青肌)・アカメガシワ(赤芽柏)・タカノツメ(鷹の爪)



落ち葉 拾おう 比べよう

挑戦 目標 20種

深まる秋
野鳥たちとも
出会いの
季節です

紅(黄)葉の仕組みを学ぼう

- ・離層 ・光合成 ・糖
- ・葉緑素(クロロフィル)
- ・アントシアニン ・カロテン ・タンニン

標準和名	漢字表記	生活型	餌	特徴	目	科
ミサゴ	鶺鴒	留鳥	魚	オスプレイ(停空飛翔), 頭白	幼	ミサゴ
オオタカ	大鷹	留鳥	鳥・ネズミ・ウサギ	針葉樹に営巣, 鷹狩りのタカ	幼	幼
ノスリ	鷹	(留鳥)	ネズミ・鳥・ヘビ・カエル	翼下面に褐色パッチ	幼	幼
モズ	百舌鳥	漂鳥	昆虫・カエル	高鳴き, はやにえ, 頭デカ, 鋭い鉤嘴	スズメ	モズ
カケス	鶺鴒	留鳥	木の实・貯食	jay(英), ごま塩頭, 腰:白, 雨覆:ブルー	スズメ	カケス
シジュウカラ	四十雀	留鳥	昆虫・種子	お洒落なグレー&ブルー, 黒いネクタイ	スズメ	シジュウカラ
ヒヨドリ	鶺鴒	留鳥	木の实・蜜・昆虫	どこにでも, 鳴き真似, ホサホサ頭	スズメ	ヒヨドリ
ツグミ	鶺鴒	冬鳥	木の实・ミズ・昆虫	下面:鱗模様, 地上:だるまさんが転んだ	スズメ	ヒタキ
ジョウビタキ	尉鶺鴒	冬鳥	昆虫・ケ・木の实	♂:頭灰白:下面オレンジ, 紋付き	スズメ	ヒタキ



いのち 食べる食べられる現場

コナラどんぐりの発根



のんびり ゆっくり
山仕事
体験・見学 いつでも募集中



間伐手遅れのヒノキ人工林を
自然の山に戻す試み

問い合わせ:080-5124-6463(古川)

No	標準和名	漢字表記	科	メモ(紅葉色など)
1	コナラ	小櫨	ブナ	黄→褐
2	アベマキ	栲	ブナ	黄→褐
3	エノキ	榎	アサ	黄→褐
4	ヤマコウバシ	山香し	クスノキ	橙 葉:皮質
5	ヤマザクラ	山桜	バラ	赤 葉裏白
6	カマツカ	鎌柄	バラ	朱
7	アズキナシ	小豆梨	バラ	橙
8	マルバハギ	丸葉萩	マメ	黄
9	アカメガシワ	赤芽柏	トウダイグサ	黄
10	ヤマウルシ	山漆	ウルシ	赤 果皮:毛アリ 幹:灰褐
11	ヤマハゼ	山櫨	ウルシ	赤 果皮:毛無し 幹:褐
12	ハゼノキ	櫨の木	ウルシ	赤 無毛
13	ヌルデ	白膠木	ウルシ	朱 翼あり 果実:塩味
14	アオハダ	青肌	モリノキ	黄 葉:薄
15	イソノキ	磯の木	クワメドク	赤→紫
16	ツタ	蔦	ブドウ	赤 葉:3裂,3小葉など
17	タカノツメ	鷹の爪	ウコギ	黄 芳香
18	クサギ	臭木	ソウ	黄
19	リョウブ	令法	リョウブ	朱
20	ガマズミ	莢迷	レンブクワ	赤→紫

下見で出会った注目種



センリョウ (千両)



タンキリマメ
(痰切豆)



ホコリタケ (埃茸)

名古屋市に「提案書」出しました
11月9日 別紙参照

次回 12月10日(日) 9:30 スタート
～ 紅と黄金に染まろう 年の暮れ ～
コナラの森から「もみじ谷」まで

連絡先 (古川)

tell/fax: 052-821-6463

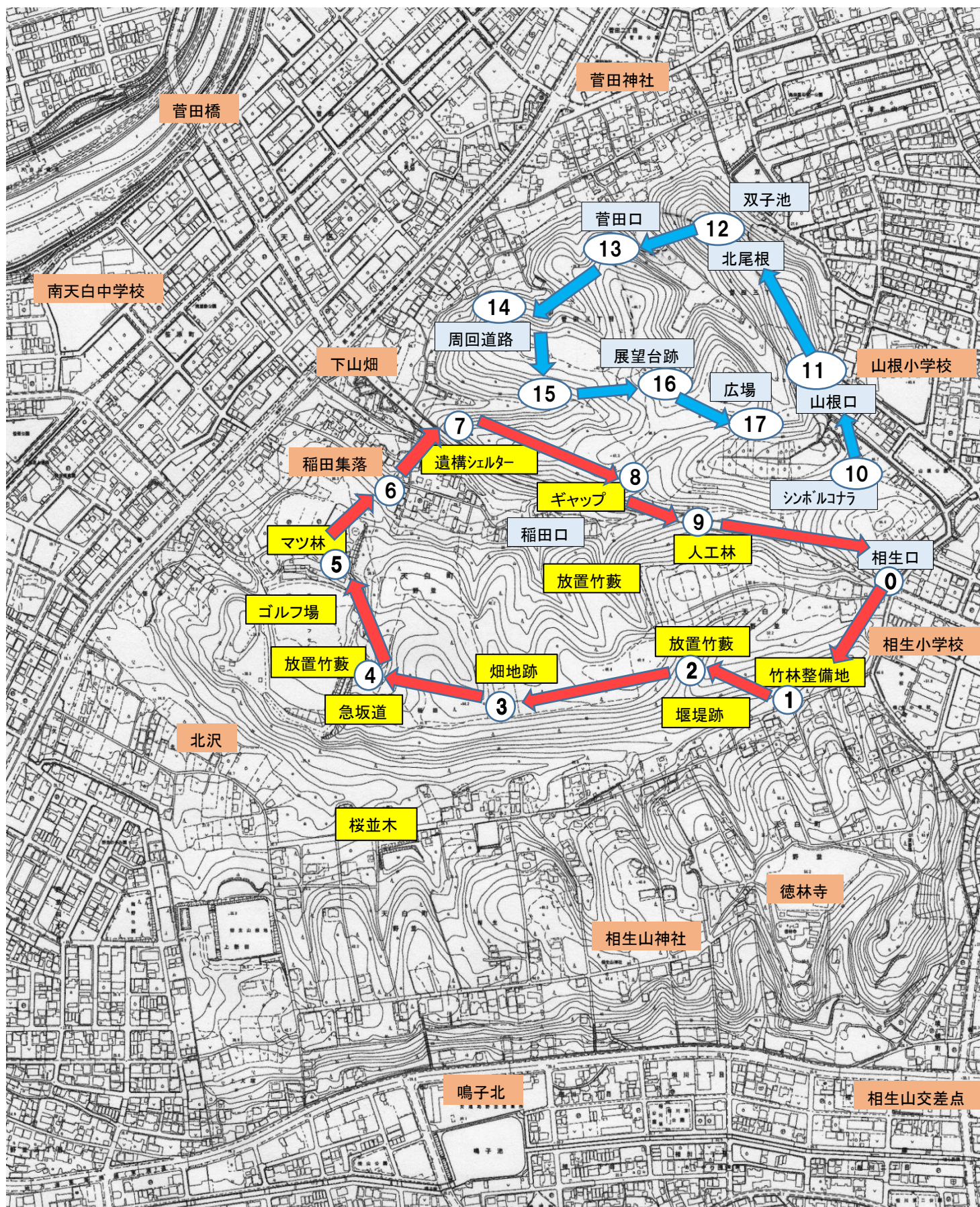
ケイタイ: 080-5124-6463

メール: viva_forest@yahoo.co.jp

ホームページ: ラブリーアース

ブログ: 相生山からのメッセージ

相生山の四季を歩く会 2017 秋の遠足



午前の部 コースタイム(予定)				午後の部 (案)					
0 出発地	9:40	4 尾根上分岐	10:30	8 稲田口ギャップ	11:45	10 シンボルコナラ	13:00	14 西の覗き	14:00
1 樹林入り口	9:50	5 ゴルフ場北	10:45	9 人工林北	11:50	11 山根口	13:10	15 折り返し点	14:20
2 竹藪底	10:00	6 稲田集落	11:00	0 解散地	12:00	12 北尾根分岐	13:30	16 ターミナル	14:40
3 果樹畑跡	10:20	7 シェルター上	11:20			13 アオハダ坂	13:45	17 中央広場	14:50